



報道関係者各位

ビジネスウェア業界初！全国チェーンの小売店舗としては 最大数の 887 店舗をエコマーク認定！




(公財)日本環境協会 エコマーク事務局(住所:東京都千代田区、理事長:森嶋 昭夫)は、青山商事株式会社が運営する「洋服の青山」「ザ・スーツカンパニー」「ユニバーサルランゲージ」などのビジネスウェア事業全 887 店舗を 2020 年 3 月 19 日付でエコマーク認定しましたのでお知らせします。エコマーク「小売店舗 Version2」認定基準での今回認定は、ビジネスウェア業界で初であり、また店舗数も過去最大です。今後、アパレル業界に環境配慮の取り組みが広がっていくことが期待されます。

◇エコマーク「小売店舗 Version2」の新たな認定店舗について

今回認定を受けた店舗は、青山商事株式会社(本社:広島県福山市王子町 1-3-5 URL:
<https://www.aoyama-syouji.co.jp/>)が全国に展開するメンズ・レディースのビジネスウェア専門店「洋服の青山」「ザ・スーツカンパニー」「ユニバーサルランゲージ」などの全7業態、全 887 店舗です。

同社はビジネスウェア業界のリーディングカンパニーとして、持続可能な開発目標(SDGs)への取り組みを重要視し、ESG の観点からも環境への取り組みを進めてきました。今回の認定は、エコマーク商品類型 No.501「小売店舗 Version2」認定基準に基づいて認定を受けたものであり、環境配慮型商品の開発・販売(PET ボトルをリサイクルした繊維や再生羽毛などを使用したもの)のほか、Sedex (Supplier Ethical Data Exchange: サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)への登録によるサプライチェーンを含む社会・環境面に配慮した責任ある事業慣行の推進、スーツ類のリユースを通じた資源循環スキームを構築している点などが特に評価されました。さらに、下取りしたスーツの一部は備蓄用防災毛布にリサイクルして地方自治体に寄付するなど、社会貢献と環境負荷低減の両面で優れた取り組みと高く評価され認定に至りました。

表. エコマーク商品類型 No.501「小売店舗 Version2」認定を受けた株式会社青山商事の全店舗

業態・営業店舗名			
認定店舗	洋服の青山	ザ・スーツカンパニー(※1)	ユニバーサルランゲージ(※2)
認定番号	19 501 003	19 501 005	19 501 006
認定店舗数	809 店舗	64 店舗	14 店舗
URL	https://www.y-aoyama.jp/	https://www.uktsc.com/top/CSfTop.jsp	

(※1) ホワイト ザ・スーツカンパニー、ザ・スーツカンパニーSPA アウトレットを含む

(※2) ユニバーサルランゲージ メジャーズ、ユニバーサルランゲージ アウトレットを含む

◇小売店舗の環境対応の背景

近年、国連の SDGs に代表される持続可能性に配慮した取り組みが、小売店舗の事業戦略上、大きな注目を浴びています。特に SDGs の目標 12「つくる責任つかう責任(持続可能な消費と生産のパターンを確保する)」では、環境配慮型商品の販売が小売店舗に求められ、消費者に果たす役割も大きくなっています。また、アパレル業界においては衣料品の廃棄が大きな問題として捉えられ、「大量生産・大量消費・大量廃棄」の経済構造を変革していくことが求められています。海洋プラスチックごみ問題への対応などと合わせ、小売事業者としても多様な社会的課題に対する統合的な取り組みが求められる時代となっています。

◇エコマーク「小売店舗 Version2」 基準について

「小売店舗 Version2」認定基準では、以下のエコマーク表示に示すとおり 6 つの評価カテゴリー(取組の内容を示すピクトグラムを参照)において合計約 60 項目の基準項目が設定されています。具体的な基準項目としては、小売店舗の場合には環境配慮型商品の販売、容器包装を簡略化した販売などのほか、SDGs の達成にも繋がる多様な取り組みを評価する内容になっています。また、審査は書類および現地にて行われ、認定には必須項目全てと選択項目 21 ポイント以上(飲食料品を扱わない店舗の場合)の適合が必要となります。

<評価カテゴリー>

1. 環境に配慮した商品販売
2. 環境コミュニケーション
3. 廃棄物削減とリサイクル
4. 省エネと節水
5. 物流の効率化
6. 環境を意識した店舗運営

規模や業態による多種多様な取り組みを評価するため、ポイント制による評価を採用。

必須項目の全てと選択項目 21 ポイント以上(飲食料品を扱わない店舗の場合)で認定がされます。

2 ポイント以上を満たしたカテゴリーについて、右図のピクトグラムを施設内や宣伝広告に表示し、環境への取り組みを消費者にアピールすることができます。



認定基準や認定店舗の一覧などについては、エコマーク事務局ウェブサイトで公開しています。
(<https://www.ecomark.jp/store/>)

以上

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階
TEL: 03-5829-6284 E-mail: info@ecomark.jp

<エコマークについて>

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度です。1989年に創設され(公財)日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でもより良い商品を選びやすくすることを目的としています。エコマーク事務局ウェブサイトでは、最新情報を随時アップしています。URL: <https://www.ecomark.jp/>